MIKASA

2019
CSR REPORT

株式会社ミカサ CSR レポート

MIKASA

株式会社 ミカサ

編集・発行：CSR レポート 2018 実行委員
福岡県福岡市博多区博多駅東 1 丁目 16-14 リファレンス駅東ビル 6F
TEL：092-431-3829.（代表電話）

UD FONT

ホームページより
PDF 版もご覧いただけます。

私たちミカサグループは、建物環境整備ならびに企画運営業務を
トータルにおこなえるグループです。

ミカサグループ（株式会社ミカサ・宗像緑地建設株式会社・三笠エンジニアビルグ株式会社）

屋内施設系
- ビル建物管理業（清掃／設備／防除／飲料水）
- 受付フロント料金出納業務
- 電話交換業務
- ホテル・商業施設・飲食店清掃
- 荷物カート回収業
- 施設警備業
- ホール舞台運営
- 遠隔監視業

屋外施設系
- 植栽公園維持管理
- 駐車場管理
- 大型バス室内清掃
- イベント企画運営
- 社会貢献活動（地域公益活動）

専門別系
- 体育館・スポーツ施設運営
- 学校教育施設管理
- 病院施設管理
- 図書館運営
- 地域コミュニティーセンター運営
- 不動産・マンション管理

人材開発系
- 労働者派遣業
- 外国人技能実習生研修業務

水処理系
- 上下水道処理施設管理
- 産業廃棄物収集運搬
- 工業用水道施設管理
- 雨水排水貯水管理

工事系
- 機械設備修繕工事
- 配管設備修繕工事

衛生系
- 環境衛生管理
- 空調管理
- 給排水管理
- 新型コロナウイルス消毒

CONTENTS

トップメッセージ 01-02
SDGs につながる取り組み 03-04
持続可能な社会をめざして 05-08
地域とつながる 09-14
社員の幸せを守る 15-16
社会活動を支援する 17-20
CSV へ向けた取り組み 21-22

CSR レポートに寄せて

株式会社ミカサの CSR レポートは 2016 年以来、早いもので今回、4 回目の発行となりました。本レポートは株式会社ミカサの 1 年間における CSR 活動を刻々と記録し、私たちを取り巻くステークホルダーの皆様に唯一お届けできるツールとなりました。制作する仲間たちや協力していただく方々も増え、徐々にではありますが、私たちの行動とともにレポート内容も充実されたものになりつつあります。CSR という考えは、時代の流れによって変化も伴いますが、時代を感じ取るアンテナは常に敏感で、時代のニーズに対応できる企業であり続けたいと思います。

このレポートの発行にあたり、ご協力いただきました皆様へ心から御礼を申し上げます。

CSR レポート 2019 実行委員
代表　濵口　宏一郎

トップメッセージ
TOP MESSAGE

企業の成長に欠かせない「事業拡大」「CSR」一歩ずつさまざまな施策を前に進めていく。

私たちミカサは、昭和 50 年の創業以来、一貫して「社会貢献」を企業理念と掲げ、社員・顧客・取引先・地域など、あらゆるステークホルダーに対し利益をもたらすため、事業運営を行っています。

一方、近年においては 2016 年の国連決議に基づき、2030 年に向けた「持続可能な開発目標（SDG s）」（以下、SDG s）により、日本においても SDGs に関心を寄せる企業、自治体、NPO が増加しています。企業や団体が事業活動を通じて、その社会課題の解決に取り組むべきという考えが急速に浸透しています。

国際社会全体の共通目標であり、高い目標としての SDGs ですが、求められる目標とターゲットは非常に広く、全てを達成することは容易ではありません。目指すゴールに到達するために、私たちミカサは何をすべきなのか、手探りながら自社の事業活動を SDGs の枠組みで捉え、様々な CSR 活動を展開しています。

当社の事業の中には、SDGs のターゲットの項目の多くと相互に関連する要素があります。持続可能な近代的エネルギーの維持管理や適切な雇用創出、地域における文化的、健康的な生活の提供、地域への協賛など、どれもが SDGs と直接または間接的に絡み合っていることがわかります。

2019 年、ミカサでは、事業拡大と CSR は成長の両輪であるとの考えのもと、CSR の推進を図り活動目標の達成に向け、着実に取り組みを進めてまいりました。
ミカサは、今後も社会や環境と共生しつつ、みなさまの喜びをもらえる企業として堅実にかつ進取的に歩みつづけます。

社会をつくるのは人
企業をつくるのも人

株式会社ミカサ
代表取締役　倉重 一男

SDGs につながる取り組み

世界では、発展途上国から先進国まで国際社会全体で、様々な課題に取り組む動きが活発になってきています。「ジェンダー」・「貧困」・「雇用」・「気候変動」など、国際社会が取り組む社会課題の中には、私たちの暮らしと結びつくものが多くあります。この解決に向けた取り組みとして個人、団体、企業問わず、多くの努力が必要になってきます。ミカサでは、すでに事業や活動のなかに、その種を撒いています。わたしたちの行っている事業や社会貢献活動は、SDGs という国際目標に向かっているのです。

SDGs とは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された国際目標です。持続可能な世界を実現するための「17 の目標」とその課題ごとに設定された「169 のターゲット（具体目標）」から構成されています。SDGs は発展途上国だけではなく、あらゆる国と地域が、貧困や飢餓、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、世界が抱える課題を誰一人とり残さず包括的に解決することを目指しています。

ミカサの企業理念と 5 つの約束

企業理念に掲げる「社会貢献」。これは社会全体の利益あってこそという考えであり、「誰もが暮らしやすい生活環境づくり」を実現するため、我々は常に「質の高いサービス」を提供し続けることを使命としています。このたび、弊社では SDGs の理念に賛同し、私たちなりの CSR 活動を通じて、SDGs の実現に向け努力していきます。

PROMISE 01　水と緑、すべての環境にとって健全で美しい状態をめざします

PROMISE 02　快適で安全なまちを実現するため何事にも誠実に向き合います

PROMISE 03　地域あっての企業であることを念頭におき地域と共に一体となって成長します

PROMISE 04　日々進化する先端技術へのあくなき探求を行います

PROMISE 05　ともにビジョンの達成に向かう職員を大切にします

ミカサの目指すもの

CSR の重要テーマを定め、それぞれのテーマにおいて目指すべきものを各事業より設定しました。さらに、SDGs とも絡め、より社会に貢献していきます。

CSR 重要テーマ	目指すもの	SDGs
持続可能な社会をめざして	循環型社会の実現 あらゆる人の活躍を推進する 子どもの未来を応援	
地域とつながる	地域の絆と安心社会の実現	
社員の幸せを守る	ダイバーシティ社会に対応した配慮	
社会活動を支援する	協賛活動 その他	
CSV へ向けた取り組み	環境負荷の低減	

持続可能な社会をめざして

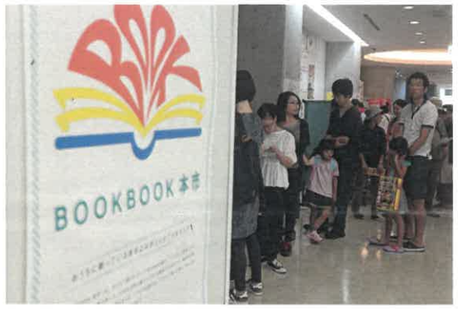
持続可能な未来を社会とともに築いていくことは、企業の社会的責任です。ミカサは、環境に携わる企業として、独自の資源循環システムの構築をおこなっています。また、新たな人財の雇用や未来あるこどもたちのために向けた取り組みをおこない、持続可能な社会の発展に貢献しています。

SDGs との関わり

本のリユースイベント

BOOKBOOK 本市

地域の方々よりいただいた、読まなくなった本を自由に選んで持ちかえることができる本のリユースイベントを行っています。2019 年度は、9 月に「いとにぎわい祭り」（※3 月の西区環境フェスタは、中止）に出店いたしました。たくさんの方が来場し、素敵な本との出会いを願いながら、それぞれがお気にいりの一冊を手に取り、持ち帰られました。
また、多くの方々に知っていただくため、BOOKBOOK 本市の「ロゴマーク」を刷新し、これからも読まなくなった本を次の読み手へつなぐ活動を続けていきます。



多様な人財とともに

多様性ある採用への取り組み

2019 年度からは外国人留学生採用への取り組みをすすめています。国籍や人種、性別などを超えて、多様性ある採用を考えることにより、企業の価値観を広げていく良い機会になりました。日本での就業を希望する留学生がより良い企業情報のもと就職活動ができるように努力していきます。

ベトナム応援で国際貢献

2020 年 1 月、ベトナムから技能実習生を新たに 3 名迎え、ミカサでは 5 名の実習生を迎え入れています。
動物園散策、地域の夏祭りへの参加、ボランティア活動、初詣、四季折々の日本の文化を体験し、日本の文化を一緒に楽しむ時間も作りました。
日本で技能を習得し、ベトナムに持ち帰ることが実習生の生活の糧になり、ベトナムの発展へ寄与します。現在、実習生は技能の習得とともに日本語の学習にも取り組んでいます。その頑張りを私たちは寄り添いながら応援を続けていきます。

未来ある子どもたちのために

「FUKUOKA みらいプロジェクト 2019」「い〜な」ふくおか・子ども参観日への参加

2019 年度は、8 月に「FUKUOKA みらいプロジェクト 2019」、「い〜な」ふくおか・子ども参観日のプロジェクトを合わせて実施いたしました。今回は、3 兄弟 6 人を受け入れ、うち一人は幼稚園年中児でした。兄弟での参加ということもあり、リラックスした笑顔が多く見られ、ランチ後にはいつの間にかゲームがスタート。子どもたちのコミュニケーション力の高さと元気な姿にエネルギーをもらいました。体験学習を通じて親の仕事や職場を知る良い機会になりました。

インターンシップの機会づくり

株式会社ミカサでは、福岡県在住の大学生に対し、インターンシップの機会を提供しています。インターンシップでは本社での企画や事業所で行われる業務や研修に参加していただいています。社会人としての初めの一歩として、短期間でも多くのことが学べるようにプログラムを工夫し、少しでも貴重な体験になるように協力しています。
2019 年度は外国人留学生 3 名を含む大学生 17 名に対して、インターンシップを実施しました。

地域とつながる

Community

地域住民の暮らしに深く関わる企業として、地域貢献は欠かすことができない活動です。ミカサでは、地域交流センターや体育館の指定管理業務を中心として、地域の健康づくりや、環境美化、環境活動など、さまざまな取り組みをおこなっています。

SDGs との関わり

花と緑のまちづくり

花で彩るまちづくり「一人一花運動」

福岡市の「一人一花運動」を応援しています。
地下鉄大濠公園駅の花壇には、職員が心を込めて育てた彩り豊かな花々が年間を通して咲いています。春にはたくさんのチューリップが花を咲かせ、大濠公園の満開の桜と共に訪れる人々の心を和ませてくれます。
地域の方々から「綺麗ですね」「いつも楽しみにしています」など、あたたかい言葉をかけていただくことも多くなりました。
これからも、心安らぐ美しい街づくりを実現していきます。

指定管理業務を通じた地域貢献

第１回スマイルスポーツフェスティバル

障がいの有無を問わず、年齢や性別、体力の大小も関係のない誰もが参加できる世界初のスポーツ「10m10s（じゅうめーとるじゅうびょう）」（※10m を 10 秒ジャストでゴールする競技）を開発し、地域住民だけでなく多くの市民が参加できる「第１回スマイルスポーツフェスティバル」を福岡市内の地域交流センターが合同で開催。競技は、点字ブロックにアイマスクや車いすなどが設定されたレーンの個人記録を４人で「補い合う」ことができるチーム戦と、個人の感性のみで勝負する個人戦とで行い、合計３０チーム１３０名以上が集まる大会となりました。

留学生と地元高校生の文化交流の場

西部地域交流センターでは、周辺地区で増加している留学生が地域から孤立しない様に、九州大学と舞鶴高校を主とした留学生と高校生の文化交流をサポートしています。留学生が地元高校生から書道を学び一緒に日本食を作るなど日本文化に触れる機会となり、留学生に合わせて高校生はコミュニケーションを「英語」のみで行うなど、地域が介入することでお互いがお互いを知る機会を生んでいます。

ライフスタイルに合わせた健康づくり

東・西体育館では、こどもから高齢者まで様々なライフスタイルに合わせた教室を企画、開催しています。また、交流センターでは、未就学児を持つお母さんを対象に、心と体の調整を目的としたピラティス教室を開催。地域の協力を得て託児コーナーも準備するとともに、今年は「お母さんの交流タイム」を新たに導入し、お母さん同士のコミュニケーションの場を提供しました。

健康教室を通じて地域に笑顔を提供

東・西体育館や地域交流センターで働くスポーツ指導員は、施設内の運動指導に留まらず、周辺地域の健康を担う存在でもあります。近隣の公民館や講堂などで、健康講座や簡単な健康体操をレクチャーし、さらに笑顔になる機会を生むことで、地域住民の体の健康のみならず心の健康も担っています。

指定管理事業（2020.3.31 時点）

コミセンわじろ（福岡市和白地域交流センター）

地域住民の皆様の交流の場の提供や、地域福祉の向上などに寄与することを目的とした公設民営の複合施設です。JR 福工大前駅の駅舎ビル内にあり、同じく市営の「和白図書館（指定管理外）」を併設しています。特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所との JV で管理運営を行っています。

レスポアール久山（久山町文化交流センター）

幼児から高齢者まで、住民すべての生涯学習の場として、また、豊かな地域文化創造の拠点施設として、久山町民の文化交流に寄与することを目的とする公設民営の複合施設です。ホールや会議室を有するコミュニティセンターと「久山町民図書館」を併設しています。

さいとぴあ（福岡市西部地域交流センター）

地域住民の皆様の交流の場の提供や、地域福祉の向上などに寄与することを目的とした公設民営の複合施設です。JR 九大学研都市駅前に位置し、同じく市営の「西部出張所と西部図書館（指定管理外）」を併設しています。特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所との２施設目の JV 事業として管理運営を行っています。

福岡市立東体育館・福岡市立西体育館

スポーツの振興を図ることを目的として設置され、市民が生涯にわたって気軽にスポーツ・レクリエーションや運動を楽しめる身近な施設です。特定非営利活動法人福岡市レクリエーション協会との JV 事業として管理運営を行っています。

あすみん（福岡市 NPO・ボランティア交流センター）

「明日（あす）の市民（しみん）」への思いを込めた公益活動のサポートセンターとして設立された公設民営の施設です。特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所との３施設目の JV 事業として管理運営を行っています。

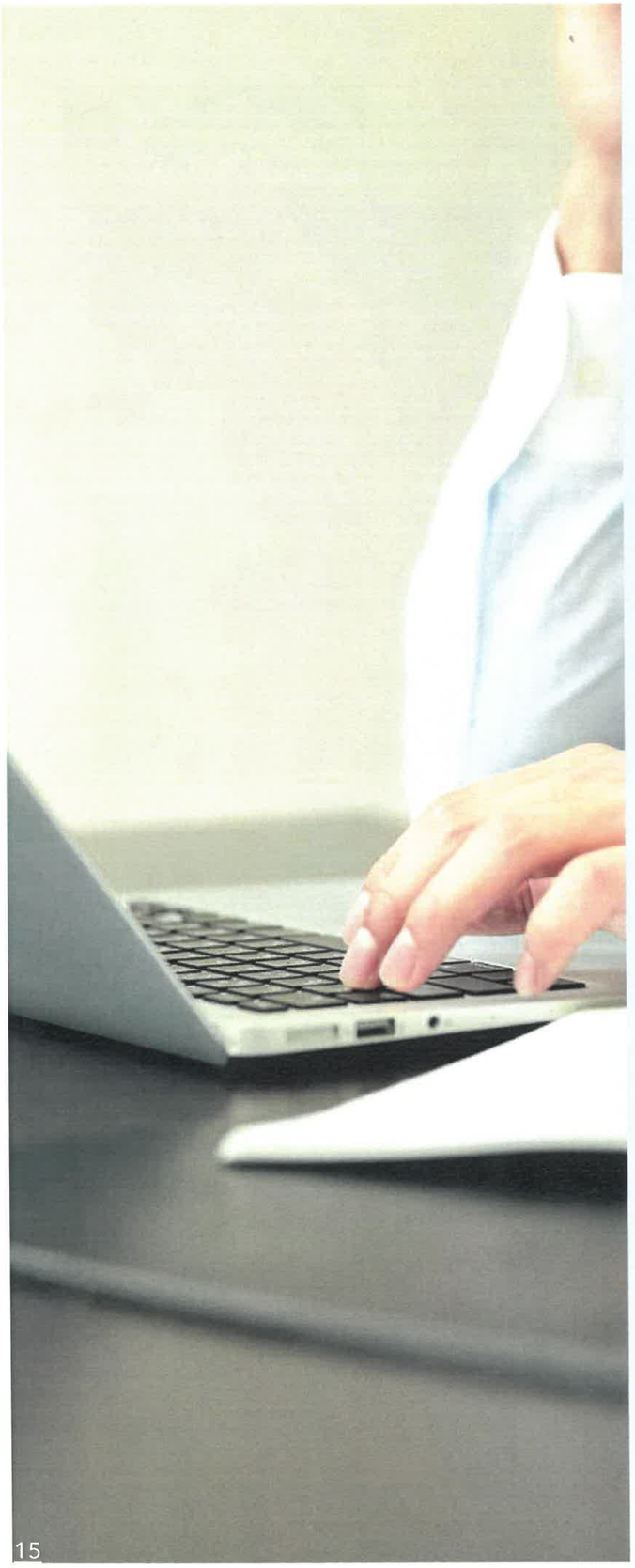
こどもの日の無料イベントの開催

東・西体育館や地域交流センターでは、毎年５月５日（こどもの日）に施設の無料開放に伴い、こどもたちのためのイベントを開催。こどもの体力のみならず、考える力、イメージ力、対応力などを育成できるような企画で、こどもの笑顔が溢れる要素も加えて開催しています。

地域清掃への取り組み

周辺地域の美化活動

地域との関わりが深い企業として、交流センターでは「朝活」と題した建物周辺の清掃活動を実施、その他にも周辺の海岸・公園などを地域のみなさんと一緒になって清掃をしたり、機材を使用した草刈りも行っています。毎年ラブアースクリーンアップにも積極的に参加するなど、環境美化活動にも力を入れています。また、本社でもビルメンテナンス協会が主催する天神・博多周辺のクリーンアップ活動に、役職に関わらず多くの社員が参加しています。



社員の幸せを守る

社員が活き活きと働き、自由に挑戦し、自らの成長が実感できるよう、人財開発やワーク・ライフ・バランスの充実に向けた制度の構築や職場環境の改善に取り組んでいます。

SDGs との関わり

スキル向上のために

「自己研鑽のための チャレンジ を支援

ミカサでは業務に役立つ研修を積極的に行い、また社員の資格取得を支援しています。
■より使いやすく、居心地のよい管理物件を目指して
■より高い専門的技術を身につけるために
社員は、自己の研鑽とチャレンジを続けています。
また、資格を取得した社員は、社内報：M.News に掲載され、全 社員へ 周知するとともに社員の 励みになっています。

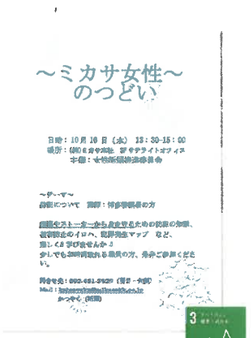
〔保有資格　※一部〕

CSR 検定試験 / ビジネスマネジャー検定 / 全国手話検定試験 / 生活指導員講習（外国人技能実習制度）/ サービス接遇実務検定 / ビジネス･キャリア検定（人事･人材開発スペシャリスト）/ ビジネスマネージャー検定 / ボランティアコーディネーション力 / メンタルヘルス・マネジメント検定 / 技能実習責任者講習 / 健康運動実践指導者 / 認知証サポーター研修受講　など

社員が働きやすい職場づくり

安全・安心がある社会を目指して

みなさんはご存知でしょうか。
福岡県の性犯罪認知件数は全国的にみても非常に高く、また人口比率では全国 2 位の順位になっています。
令和元年度は、博多警察署から現役の警をお招きして社員へ向けた研修を実施しました。女性被害の犯罪の実態、被害に遭わない為の対策、加えて護身術を学ぶ時間を持ちました。
私たち一人ひとりが、啓発活動への参加とともに「被害者にならない、させない」ということを自覚致しました。　また､委員はメンタルヘルスケアの知識習得とともに､社員へ｢寄り添う｣ことに努めています。
私たちの女性活躍推進委員会は､社員の安全安心を守るために継続して活動を行っていきます。



健康促進推進事業「ミカサクラブ」

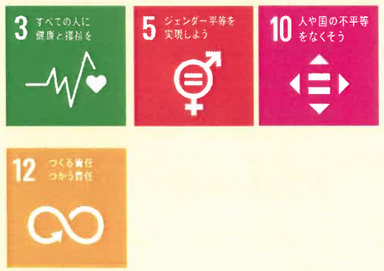
「スポーツとレクリエーションで会社・社会へ貢献する！」を目標に、ミカサグループの職員とそのご家族を対象に体と心の健康づくりを推進する「ミカサクラブ」を立ち上げました。職員による「山登りへ行こう！」「ゴルフへ行こう！」企画や地域行事・運動教室などに参加する地域交流企画などが実施されました。企業の社会への影響に対する責任を果たしていくため、職員同士、職場を超えた人間関係の構築を目指し、これからのミカサの未来につなげていきます。

社会活動を支援する

SUPPORT

ミカサでは、地域と互いに良好なコミュニケーションを保ちながら、地域社会の発展に貢献できるよう、事業以外においても支援をおこなっています。今後も寄付や社員一人ひとりの活動を通して、地域に根差した活動をされている団体へ支援を続けていきます。

SDGs との関わり



国際 NGO への支援

使用済み切手を国際協力 NGO へ寄付

会社に届いた郵便物から使用済み切手を切り取り、女性のいのちと健康を守る活動をしている日本生まれの国際協力 NGO「公益社団法人ジョイセフ」へ寄付をおこなっています。

年 度	寄 付 (g)
2018	650
2019	700

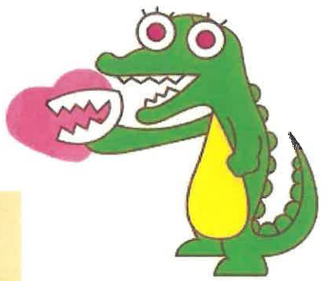
ジョイセフ JOICFP
Reproductive health for today and the future

ジョイセフ（公益財団法人）は、女性のいのちと健康を守るために活動している日本生まれの国際協力 NGO です。国連、国際機関、現地 NGO や地域住民と連携し、アジアやアフリカで、保健分野の人材養成、物資支援、プロジェクトを通して生活向上等の支援をおこなっています。（ジョイセフホームページより）

https://www.joicfp.or.jp/jpn/

NPO 法人日本入れ歯リサイクル協会

不要入れ歯・アクセサリーをリサイクルすることにより、資源として生まれ変わり、その益金を地域の福祉に役立てる事ができ、またユニセフを通して世界の子ども達に希望を与えることができます。福岡市 NPO・ボランティアセンター「あすみん」にて回収ボックスを設置し、日本ユニセフ協会、各市街村福祉事業、福岡市 NPO 活動支援基金へ寄付をおこなっています。



リサイクル
不要入れ歯・アクセサリー

日本ユニセフ協会
各市町村福祉事業

福岡市 NPO 活動支援基金

今後の取り組み

■（財）日本アイバンク協会
回収対象：コンタクトレンズの空ケースのリサイクル（再資源化）
■ LION　歯ブラシ回収プログラム
回収対象：家庭用歯ブラシ（新しいリサイクル製品に）

スポーツやイベントへの応援

企業やイベントへの協賛

福岡市の取り組みを中心にスポーツチームや地域イベントなど協賛を通じて、様々な応援をおこなっています。

〔協賛実績〕

- ■ 2019 アビスパ福岡サポートファミリー
- ■ 赤い羽根共同募金
- ■ スポーツフェスタ・ふくおか（福岡県スポーツ振興課）
- ■ ふくおか灯のパートナー
- ■ 福岡クリスマスマーケット 2019
- ■ 福岡プロバスケットボールクラブ株式会社　ライジングゼファーフクオカ
- ■スマイルスポーツフェスティバル 2019
- ■ フラワーアップスクール
- ■ 福岡市スポンサー花壇（福岡市）
- ■ 祭りひさやま 2019（久山町商工会青年部）

（アビスパ福岡）

（赤い羽根共同募金）

（ライジングゼファーフクオカ）

（スマイルスポーツフェスティバル）

（福岡クリスマスマーケット）

（福岡市スポンサー花壇）

（祭りひさやま）

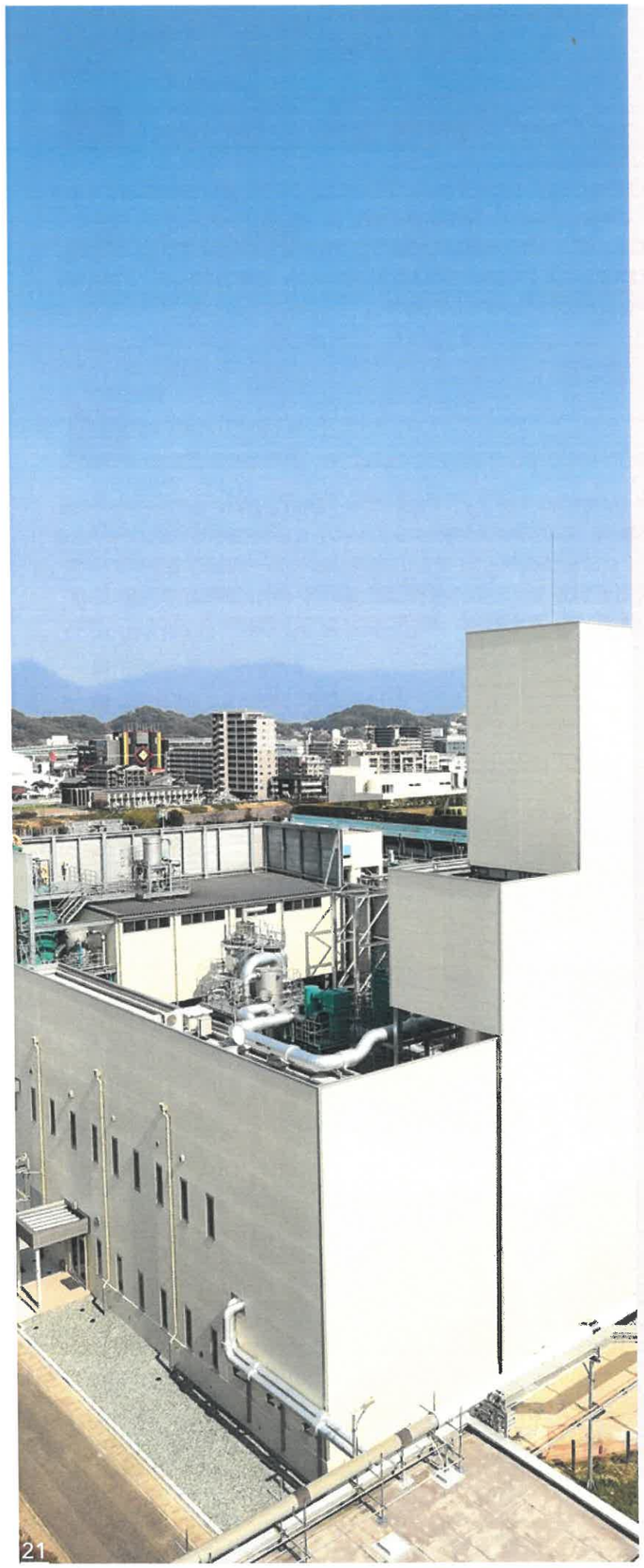
ボランティア体験プログラムの提案

あすみんでは、「ボランティアをしたいけれど何から始めたらよいかわからない」、「初めてだから不安」という市民におすすめのボランティア体験プログラム「ハジメのイッポ」を用意しています。「ハジメのイッポ」は、初心者でも参加しやすい内容で、学生からシニアの方まで参加可能です。参加者からは、「楽しかった」、「やりがいもあって、ありがとうと言われてうれしかった」などの感想を聞いています。個人だけでなく、プログラムによって団体の受け入れも可能なので、社員でボランティア活動をしたいという企業の相談にも対応し、ボランティア団体とのマッチングをしています。

障がい者スポーツ支援と連携

福岡県デフ（聴覚障がい）バスケットボールクラブ EMPERORS のオフィシャルスポンサーとして、障がい者スポーツへの支援と連携を新たにはじめました。EMPERORS は、国際大会「DIBF アジア太平洋クラブカップ」に日本代表クラブとして 3 大会連続出場、聴覚障がい者の世界大会「デフリンピック」に日本代表選手・コーチとして出場したメンバーが在籍する今年で 20 年目を迎えるクラブです。職員と選手が一緒に楽しむ「デフバスケットボール体験教室」の実施、クラブが運営している「九州デフバスケットボールフェスティバル」への協賛とボランティア派遣など、見た目では分りにくい聴覚障がいについて、今後も相互理解を深めるて行きたいと思います。

当社では手話言語へ理解を深めるために、本社朝礼にて「一日一手話」教室が開催され、職員の中から手話技能検定合格者も輩出するまでになりました。



CSV へ向けた取り組み

CSV Initiatives

ミカサは、地球温暖化防止に大きく貢献できる下水汚泥燃料化リサイクル事業の普及・拡大に向けて、積極的に取り組んでいます。

SDGs との関わり

2019 年の新たなリサイクル事業

御笠川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業

2019 年４月１日から、（株）ミカサは特別目的会社「株式会社バイオコール福岡御笠川」の一員として、「御笠川那珂川流域下水道御笠川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業」を開始いたしました。この事業は、バイオマス資源である下水汚泥を原料に燃料を作る、下水汚泥燃料化リサイクル事業です。
燃料の製造過程では下水から排出された汚泥を固形化し、加熱する必要があります。従来の方法に比べ加熱温度が低いため排出される二酸化炭素量は少なく温室効果ガスの削減、地球温暖化防止に貢献するものです。また、使用される際の熱量は高く好循環な燃料になります。
一方、CSV の観点からみてみれば、生成された固形燃料は公共性の高い火力発電所等で買い取られ、安定的に利用されることから、事業者にとっても利益を持続的に確保することが可能となります。2019 年度は下水汚泥固形燃料化事業の初年度となりましたが、今後も安定的な運営により事業の安定化に積極的に取り組んでまいります。

区　分	従　来	新　来	備　考
製造技術	高温炭化技術	低温炭化技術	
原料加熱温度	600℃～ 800℃	250℃～ 300℃	
生成熱量（1kg）	7 ～ 9MJ	13 ～ 16MJ	※1　※2

※１　MJ（メガジュール）：熱量の単位
※２　（参考）輸入石炭熱量 26.6MJ、木材熱量 14.4MJ（環境省データ）

沿　革
History

1975年（昭和50年）	九州クリーン工業株式会社設立 御笠川浄化センター維持管理業務
1978年（昭和53年）	「三笠特殊工業株式会社」に社名変更
1980年（昭和55年）	中央区役所高速鉄道建設局合同庁舎清掃管理業務 福岡市立東体育館管理運営業務
1981年（昭和56年）	福岡市地下鉄空港線天神駅他清掃業務 福岡空港国際線旅客ターミナルビル清掃業務
1982年（昭和57年）	福岡空港税関支署庁舎共用部分・ＣＩＱ設備管理
1984年（昭和59年）	堅粕ポンプ場運転保守業務
1986年（昭和61年）	東営業所開設 博多駅東ポンプ場運転保守業務
1987年（昭和62年）	天神中央公園駐車場清掃業務
1993年（平成5年）	福岡空港旅客用プッシュカート維持管理業務
1996年（平成8年）	交通局本庁庁舎清掃業務
2004年（平成16年）	ＩＳＯ１４００１取得 海水淡水化センター清掃業務
2006年（平成18年）	福岡市山王雨水調整池運転保守管理業務 福岡市老人福祉センター清掃業務
2007年（平成19年）	福岡県下水道公社労働者派遣業務
2009年（平成21年）	リファレンス駅東ビル清掃・環境衛生管理業務
2010年（平成22年）	ＩＳＯ２７００１取得 田川工業用水道施設運転管理業務
2011年（平成23年）	福岡競艇場外向発売所指定席サービス業務・料金収納事務
2012年（平成24年）	九州大学病院廃水処理設備点検業務 福岡市和白地域交流センター指定管理者
2013年（平成25年）	福岡市西部地域交流センター指定管理者
2014年（平成26年）	福岡市ＮＰＯボランティア交流センター指定管理者
2015年（平成27年）	久山町文化交流センター指定管理者 中央ふ頭クルーズセンター清掃業務
2017年（平成29年）	福岡市立東体育館・西体育館指定管理者
2018年（平成30年）	「株式会社ミカサ」に社名変更

会社概要
Enterprise information

名称	株式会社ミカサ
所在地	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東１丁目16-14 リファレンス駅東ビル 6F
電話	092-431-3829（代）
FAX	092-481-7310
設立年月日	昭和50年１月
資本金	3,000万円
代表取締役	倉重一男
従業員数	約400名
加入団体	公益社団法人　全国ビルメンテナンス協会 公益社団法人　福岡県ビルメンテナンス協会 社団法人　福岡県警備業協会 日本環境管理学会 公益社団法人　日本下水道協会 公益社団法人　日本下水道管路管理業協会 公益社団法人　福岡県産業廃棄物協会 福岡中央労働基準協会 福岡県冷凍設備保安協会 社団法人　日本ボイラー協会 福岡県流域下水道維持管理協会 一般社団法人　日本下水道施設管理業協会
許認可種目	下水道処理施設維持管理業 国土交通省 (6) 処 24-104 建築物環境衛生総合管理業 福岡県 27 総第４号 建築物飲料水貯水槽清掃業 福岡県 27 総第４号 建築物ねずみこん虫等防除業 福岡県 27 総第４号 産業廃棄物収集運搬業 福岡県　第 04000041287 号 特別管理産業廃棄物収集運搬業 福岡県　第 04000041287 号 宅地建物取引業者 福岡県知事　(3) 第 016126 号 産業廃棄物収集運搬業 大分県　第 04402041287 号 産業廃棄物収集運搬業 山口県　第 03500041287 号 産業廃棄物収集運搬業 熊本県　第 04305041287 号 産業廃棄物収集運搬業 長崎県　第 04200041287 号 警備業 福岡県公安委員会　第 90000079 号 労働者派遣事業（マージン率：20%）厚生労働省　派 40-301015 管工事業 福岡県　般 -27　第 32789 号 しゅんせつ工事業 福岡県　般 -27　第 32789 号 機械器具設置工事業 福岡県　般 -27　第 32789 号 造園工事業 福岡県　般 -27　第 32789 号 水道施設工事業 福岡県　般 -27　第 32789 号 清掃施設工事業 福岡県　般 -27　第 32789 号 浄化槽保守点検業 福博保　第３号 一般貨物自動車運送業 九運貨物第 611 号
ISO 認証	ISO14001（環境マネジメントシステム） ISO27001（会社マネジメントシステム）